

授業科目 視覚機能学概論

【担当教員名】 前田 史篤		対象学年	1	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	◎	◎		
【概要・一般目標：GIO】 眼科医療および視能矯正の理念と歴史を理解し、医療の中で視能訓練士の果たす役割と職業倫理を学習する。1971年の第1回視能訓練士国家試験から1993年の視能訓練士法の改正により、眼科医の診療の補助としての矯正・リハビリ指導とそのため検査、さらに眼科一般検査が行えるようになり、医療専門職としての視能訓練士の地位が確立された歴史の流れについて学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 視能訓練士の具体的業務と専門性が説明できる 2. 視能訓練士法の概略が説明できる 3. 視能訓練士の職務倫理が理解できる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション, Orthoptist, Orthoptics の語源			1	講義
2	視能矯正の発展の歴史			1	講義
3	視能訓練士法の制定とその内容			1.3	講義
4	保健・医療・福祉における視能訓練士の役割			1.2.3	講義
5	視能訓練士の倫理, インフォームドコンセント, 守秘義務			1.3	講義
6	視能訓練士の大学教育			3	講義
7	コ・メディカル職種とチーム医療			1.3	講義
8	視能訓練士の専門性と将来性			3	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学 第二版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011・18,000円+税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験、小試験、提出物、出席状況などから総合的に評価する。			【履修上の留意点】 再試験・追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。遅刻は2回で欠席1回分とみなす。		